

令和6年度 ほっとなみ地域ネットワーク会議 まとめ

(1) 目的

個別ケースの検討を通して、高齢者のうつ状態や気分の落ち込みと、それによる意欲の低下、閉じこもりが課題として挙げられた。老人性うつや、うつ状態について学び、どのようにケースに関わっていけば良いかを学ぶ。

(2) 開催地区

出町・北部地区、庄川地区、南部・東部地区、庄東地区

(3) 内容

令和5年度 ほっとなみずっと元気会議の報告

講師による講義「高齢者のうつ状態、閉じこもりについて」

グループワークによる意見交換

(4) 参加者

民生委員、地域福祉コーディネーター、スキルアップ研修受講者、介護保険サービス事業所、市社会福祉協議会、在宅介護支援センター、生活支援コーディネーター、砺波地域リハビリテーション地域包括ケアサポートセンター、認知症地域支援推進員、薬局 等

地区	開催日	参加者数	開催場所	講師
出町・北部地区 (出町・鷹栖・若林・林・高波)	R6.11.26	29名	砺波市役所 大ホール	小矢部大家病院 小原 智恵 精神保健福祉士 砺波サナトリウム福井病院 福井 淳夫 精神保健福祉士
南部・東部地区 (庄下・油田・南般若・柳瀬・中野・五鹿屋・東野尻・太田)	R6.12.3	34名	砺波市役所 大ホール	
庄東地区 (般若・東般若・梅檀野・梅檀山)	R6.12.11	21名	般若農業構造改善センター	
庄川地区 (東山見・青島・雄神・種田)	R6.12.13	26名	庄川生涯学習センター	

(5) 課題と取り組み

課題：うつ状態や意欲低下している高齢者が多い。うつ病についての基本的な知識や対応方法、地域で高齢者とのかかわるうえで困ったときの相談先を学びたい。

取り組み：うつと認知症の関係についてや、うつ状態の高齢者への対応方法について、講義とグループワークを通して理解を深めた。地域包括とあわせて健康センターの心の健康相談や、精神科病院の相談員を紹介され、困ったときには抱え込まずに相談するよう案内があった。